

2016年7月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月も寺迫氏からの観測報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S' n	Total	
寺迫 正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	1	60	-	25	25	25cm×34 2.2° LT.
2016年7月計		1	60	0	25	25	HR 25.0

(表-1) 2016年7月の望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in July 2016

● 出現数状況

2016年7月の出現数変化を(表-2)に示します。

		UT																	
日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向 (Direction)		Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI	観測者 (Observer)			
3	26	0	27	0	60	3.729	Cyg,Lac,Cas,Cam,Per,Aur		-	25	25	25.0	12.0	G		25cm L.T. *35		寺迫 (Terasako. M)	
	1	Night			60	Min.			0	25	25	25.0							

(表-2) 2016年7月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in July, 2016

● 光度分布

2016年7月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako. M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	11	12	0	12.0	27	11.11
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	11	12	0		27	11.11

(表-3) 2016年7月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in July, 2016

今年の夏の天気は例年と違い東日本に気圧の谷が出来て、暑さは例年並以上でしたが、「夏」の気圧配置はついにできないままに秋を迎えてしまいました。台風10号の迷走や、寒冷渦の出現で天気が今までの常識が通用しなくなってきたようです。

● 幹事から

8月のペルセ群は、太平洋側は雲が発生しやすい状況でしたが、車で1時間ほどで日本海側に抜けると、快晴の空が迎えてくれました。2日間通いましたが、久しぶりに流星の本物を見ることができました。やはり「本物」に勝ものはありません。来年度以降は双眼鏡で流星を観測することを再開したいものです。

10月10日に住所が変更になります。「富谷町」から「富谷市」に変更になります。その他の変更はありません。仙台市の隣に位置するので、トヨタ自動車東日本などの企業の進出で人口が5万人を超えたためです。私の勤務する「大衡村」は宮城県内唯一の「村」ですが、このトヨタ自動車東日本が所在する所です。

(2016年8月27日)